



2630 Nakatsugawa Center Rotary Club

本日のプログラム

1. 開会点鐘
2. Rソング・我等の生業
3. ゲストとビジター紹介
4. 会長の時間
5. 会員慶事・会員夫人誕生日並び結婚記念日発表
6. 食事と交歓
7. 出席率・スマイルボックスの発表
8. 委員会・幹事報告
9. 卓話・中津川市企画部リニア推進課長・渡辺 卓
10. 閉会点鐘

今後のプログラム

1. 5月20日 会員健康診断 職業奉仕
城山病院・12時～
2. 5月27日 映画鑑賞例会 親睦活動
にぎわいプラザ・PM7時～8時半
3. 6月3日 メダカ池清掃例会 環境保全
NSP 前のメダカ池・午前10時半～
4. 6月10日 健康診断結果講評
5. 6月17日 「1年を振り返って」4 常任委員長
6. 6月24日 最終例会 退任挨拶
会長・副会長・幹事

前回の出席率

4月 15日	31 / 42	76.19%
4月 8日	補正出席率	95.24%
会員総数 44名	出席免除者 2名	

メーキャップ

熊崎金良君、丸山充信君、小倉忠雄君、立木亮治君、
浅井達雄君、吉村浩平君（中津川）

Rレート変更のお知らせ

\$1 = 94円 98円（5月1日より）

4つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

5月度会場設営

堀 正勝	鷹見幸久
吉川光彦	梅田英樹
小倉忠雄	小栗正義

例会場：中津川商工会議所
例会日：月曜日 12:30分～13:30
事務局：中津川商工会議所3階
電話：0573-66-7301
携帯：090-2188-2962
E-mail: info@2630ncrotary.org
URL: http://www.2630ncrotary.org

発行責任者
会長 中田 義昭
幹事 原 恵雄
会報 垂見 孝也
稿送付先 komanba@lilac.ocn.ne.jp

本日の講師

中津川市企画部リニア推進課
課長 渡辺 卓（わたなべ たかし）様

演題「リニア中央新幹線計画への取り組み」

会長の時間



立夏 次候 蚯蚓出る ミミズ
は土を肥やしてくれる、田畑の
隠れた味方です。今週は「愛鳥
週間」であります。ほとんどの
野鳥の繁殖期でもあります。二
十数年前ですが、中津川にブッ
ポウソウといわれる鳥が生息し
ていたのです。ある日突然、バイク仲間か電話があり
ました。モトクロスをやろうということです。モト
クロバイクなんてとくに廃車したという、「任
せなさい」と軽くいいます。ホイホイ乗ったので
すが、話には裏があったのです。友達は文部省の役人
で、野鳥の調査依頼を受けていたのです。それも山
階鳥類研究所からでした。ここは宮家に関わりが
ありヤンバルクイナ発見で有名です。調査場所は愛知
と岐阜の境あたりで、道すらないところ。バイク
なしでは時間がかかりすぎます。ところが山階の
調査員はバイクでモトクロスは未経験なので、サポ
ートが最低二人必要となり、私がはめこまれた訳で
す。バイクはヘタクソでしたが、鳥に関しては異次
元の知識と舌を巻きました。その一つが糞で鳥を確
定することです。鳥の食性を理解してないと出来な
い技です。香嵐渓奥でブッポウソウを確認しました。
ブッポウソウといわれる鳥は本名をコノハズクとい
いフクロウの仲間で、ブッキョーとかブキョーコー
と啼きます。ブッポウソウは ゲグゲと啼き、きれい
な色と姿です。キャンプを朝5時頃出て、黒井沢奥
を探索して、とうとう見つけました。中津川にコノ
ハズクがいたなんて、感激で涙がでました。離れた
ところから双眼鏡で何度も確認しました。ここで見
たことは公表しないし、人にいってはいけないとい
われました。何故なら、人は鳥の生活環境を破壊す
るからです。珍しがって探鳥にいくと、野鳥の大半
は危険を感じて営巣しなくなるのです。それから数
年たってから、コノハズクは飛来しなくなりました。
もっと住みやすい処を見つけたのでしょうか。山階の
方から、仏、法、僧のいわれである三宝について詠
まれた空海の漢詩がお礼として送られてきました。
この時期になると、懐かしく眺めます。説明を見
ないと未だ読めないのが情けないです。

中津川 R C 創立 55 周年式典・祝賀会に出席して

会長エレクト・ 小椋 一朗



4月20日 パルティール プラスにて行われました。

会長 鈴木 力さんの式辞の後 2630 地区村橋 元ガバナー 青山 節児 中津川市長 台湾三重ロータリー 陳 会長の祝辞がありました。

その後創立 55 周年記念事業の発表があり「子供たちの視察と交流 IN 石巻」のビデオが映し出され会場の最後部で中津川少年少女合唱団の皆さんの素晴らしい合唱がありました。最初はテープが流れていると思い、合唱団の皆さんがうたっているのに気が付きませんでした。子供たちの歌声を聴いて皆さん感動し涙する場面があったと思います。

その後、台湾三重ロータリーとの姉妹クラブ提携調印式があり記念祝賀会となりましたが、55周年でこんな盛大な式典を執り行うなら 周年はどんなことやるのそんな思いで我々名かも頑張らなきゃ。

2013 年度 2630 地区協議会報告

職業奉仕部門・堀正 勝



職業奉仕部門の分科会に出席をさせて頂きました。地区委員の岩田勝美さんの職業奉仕についての卓話でした。その中で 4 つの問題提起がありました。

職業人と専門職のほとんどは「どうやったら儲かるか」を常に追求をしている。そもそもポールハリスがロータリーを始めた理由は、「みんなで儲けましよう」だった。彼はロータリークラブの中でかなりのお金を残した。こんな良いクラブは潰してはいけない。永久に存続させなければいけない。という観点から「社会奉仕」を始めたのではないかと？

職業人と社会奉仕は性格が大きく違います。皆さんはロータリーとライオンズの違いについて説明が出来ますか？

もし、自分がロータリアンになっていなかったら、今どんな会社になっているかを考えたことがありますか？

「入って学び、出て奉仕せよ」は例会出席の大切さを言ってます。例会出席と職業奉仕の関係性についてどのように考えますか？

以上 4 つの質問がありディスカッション形式で行いましたが、明確な回答も無く各クラブの職業奉仕委員長がメンバーとディスカッションをしながら考えて下さい的な話で終わったように思えました。 ↗

▲ それと本年度の職業奉仕委員長の飯田さんが今年度作成された「職業奉仕 4 つの反省」を紹介しました。

顧客に対して、最上の品質、最高のサービスを提供しているか、常に正直と親切を旨としているか

従業員に対して、彼らの長所を十分に認め且つそれをかっているか、安全で快適な職場を保持しているか、苦情に対して公平に処理をしているか、自ら正直、誠実、善意の手本を示しているか

競争者に対して、公平な態度で接しているか、行動を以って誠実を感銘させているか、彼らとともに事業の水準を高める努力をしているか

協力者に対して、公平で且つ友情に満ちた関係を保っているか、何時も支払いを良くしているか以上 4 点がありましたのでご報告いたします。

公共イメージと

ソーシャルメディア部門・小林 昇



現在ロータリークラブでは会員の減少が年々著しいため、ロータリークラブとしてのイメージ向上や認知、またはソーシャルメディアでの広報活動を今後どうして行くかを話し合いました。

■現在の活動

・ロータリーの友を市内の各所（銀行や店）に配布している

・町おこし運動（ボランティアなど）地域に合った活動でアピール

・記者クラブへの行事予定の配布

・週一度のウィークリーを PDF にしてホームページに載せている

・ロータリークラブには様々なプロフェッショナルが揃っているため、年に一度、よろず相談会（法律、建物、医者）などを一般の市民に向けて開催している

・クリスマスに施設などを訪問している

・少年野球やサッカーなどスポーツ活動に協賛している

■今後の活動

・地域密着で町おこしのリーダーになり、ロータリークラブに入りたいと思わせる

・ホームページでもっと広報活動をする

・地域密着ではなく、大きな組織として一般に分かりやすいホームページを作ることが大切

・4 つのテストをしっかりとやれば、ロータリアンとして自然に広報活動になるのではないかと？ 又、人に活動などを見せつける必要があるのか？ ↗

- ▶・職業奉仕として、しっかり自分の仕事を行い社会に役立つ寄付をしていけばよいのではないか？（会費の内役が分からない）
 - ・宣伝活動は本部でやるべき（全国紙の新聞掲載など）
 - ・地方紙、ケーブルテレビなどに活動を知ってもらえるようにする
 - ・各会員企業のホームページから、ロータリークラブのホームページへリンクを張ってはどうか？ など様々な意見が出ました。

情報部門・浅井達雄



21日は春とはいえ、伊吹おろし、はたまた鈴鹿おろしかと思われる冷たい風の中、会場まで引率して頂いた小棕会長エレクト、郷原副幹事には大変お世話になりました。ありがとうございました。

私からは、幸脇さん、伊藤博行さんとともに出席した情報部門分科会を中心に報告します。情報部門分科会は全体会議会場の桑名市民会館から歩いて数分の桑名シティホテルの大ホールで行われました。会場はほぼ満席の状態でした。会議は岐阜西 RC の眞鍋さんの司会で始まりましたが、会議のほとんどはパスト・ガバナーである服部さんの講話でした。

講話の主題は当部会への出席者の多くを占める新入会員を意識したロータリーの心に関するものでした。その中で印象に残った話は現在、ロータリーのモットーとなっている「He profits most who serves best.」という言葉の解釈に関するものでした。服部さんの解釈の要点は次のようなものでした。

- 1) serve というのは、自己犠牲的奉仕ではなく、自らの生業を通じた社会への貢献であること
- 2) profit というのは、そうした生業から得られる利益そのものを意味していること

この話をうかがった時に思い出したのは、経営の神様と言われる松下幸之助が、利益とは何かと問われて「利益とは『社会への役立ち料』である」と答えたと言われていることです。「会社というのは社会全体の財産である資源を使って商品を作っている。その事業から利益が得られないのは社会がその事業を評価していないからである。」と説いたわけです。

服部さんは、ロータリーの歌「奉仕の思想」の中にある「御国に捧げん我らの業」に違和感を抱く会員が少なからず存在することにも言及し、この歌詞の歴史的背景についてお話しになりました。この時に私が連想したのは、Panasonic が遵奉すべき七精神の一つ「産業報国の精神」でした。 ↗

- ▶ 以上に述べたことから我々の日々の活動に関して影響を与え続ける先人たちのメッセージには世の東西を問わず、時代を超えて共通する真理が語られているように思います。こういう機会を与えていただいた多くの方々に感謝しながら私の報告とさせていただきます。どうもありがとうございました。

米山奨学部門・丸山充信



先に開催されました2013年度地区協議会米山奨学部門分科会の協議の中で奨学生を受け入れた経験のある中津川センターロータリークラブとして米山奨学の問題点が浮き

彫りされたと感じていますのでご報告させていただきます。

- * 桑月 心 パストガバナー挨拶より
 - 昨今の留学生は中国留学生が多すぎるのでは、ネパール、モンゴルなど幅広く奨学生を選出したらどうかという地区内各RCからの意見に対して具申したところ
 - ・中国留学生が圧倒的に成績優秀
 - ・**貧しい留学生を選ぶものでないことが米山奨学の当初の意義**
 - 本部からまかりならんと回答
- * 後藤博美委員長説明：米山奨学事業へのご理解をと合わせ活動報告がされた。
 - ・昨年度寄付金12億9000万円 1億1000万円不足
 - ・不足分は特別積立財産より取り崩し
 - ・支出のうち82%が奨学金、クラブ等への補助金13%、管理費5%
 - ・中国人奨学生昨年度51%が本年度は43%
 - ・大学側と話し合うが留学生の絶対数は中国人留学生が多く実際優秀な中国学生の推薦が多い
 - ・**東日本大震災もありこの方へ回したらと言う意見に対して本部回答は趣旨と違う**
 - ・2630地区奨学生。継続2名・新規12名学生は10万円、大学院生は14万円
- * 質疑応答
 - 大垣中RC
 - ・**多くの奨学生のホストをしたが「母国へ帰った留学生で中国留学生からの連絡がほとんど無い」**
 - ・将来、日本との架け橋になるという理念からいくと如何なものか
 - ・世界、アジア全体を見通して均等性を考慮すべき岐阜加納RC
 - ・もっと貧しくて頑張っている中国以外の他国の留学生からは怨嗟の目で見られている（次頁へ続く）

- ・成績だけに拘らず、もっと広い視野で選考を
- ・現在中国人留学生からは年賀状も来ない

所感

昨今の留学生の増加は2008年7月に政府が策定した「留学生30万人計画」によるものであり、ねらいは留学生受け入れを通じて日本での高度人材を獲得し、国際競争力を強化するというものであります。しかしながら、この「留学生30万人計画」が行われている今日と、米山奨学制度が設立された当時の日本の国情とでは明らかに変化しています。私見として「現在の優秀なお金持ちでもよい」「帰国した中国人留学生が本当に日本を理解して動いているのか」を米山奨学会本部が検証して、もっと幅広く中国以外の留学生に対しての奨学制度を進めていくことが、日本のこれからの国情を考えたときには必要ではないかと考えます。

また米山奨学会本部の設立された60年前の時代と現在の時代の変化に伴う対応がなされていないことに対して、これから入会してくる若手ロータリアンに米山奨学制度の理解を求めることは大変困難で、私たちの時代とは今後変化が有って、「一昔のように制度があるから寄付すると言う時代ではなく」、また若手の考え方の違いからして、将来、米山奨学の寄付金増やすことは今後ますます無理があると感じられる。

他クラブからの質問に対して本部が真摯な対応をしていなく、2630地区より米山奨学委員会へ出向している委員長ですら疑問を持っているにも拘わらず米山奨学会本部の硬直した考えに対して大変危惧しているのは私だけでしょうか。

会員慶事



会員誕生日

小倉忠雄君 5月9日
吉川光彦君 5月17日

夫人誕生日

武井律子さん 5月2日
可児きよさん 5月6日
堀 理江子さん 5月24日
立木秋子さん 5月29日

結婚記念日

吉村浩平君希至子さん 5月11日
中田義昭君かよ子さん 5月16日
原 恵雄君みのりさん 5月20日

< 4月22日スマイル申告 >

- ・地区協議会出席お疲れ様でした。本日の発表宜しくお願い致します。

会長 中田義昭
副会長 古川和博
幹事 原 恵雄

- ・昨日の地区協議会、出席して頂いた方には感謝致します。次年度も宜しくお願い致します。

会長エレクト 小椋一朗
副幹事 郷原基幸

- ・20日の中津川 RC 創立 55 周年記念式典に出席しました。久しぶりに美味しい食事でありつけました。パルティールの柘植君よくやった。ありがとう。

会長 中田義昭

- ・昨日地区協議会に出席させて頂きました。次年度の加賀ガナバーエレクトのお話は大変良くわかりました。

南 裕之

- ・一昨日、中津川 RC 創立 55 周年記念式典に出席してまいりました。その際に我がセンターRC パスト会長は流石だと思われる事がありました。報告致します。原幹事、鎌田事務局には感謝申し上げます。

小倉忠雄

- ・4月21日地区協議会出席予定でしたが、私用に欠席させて頂きました。すみません。スマイルします。

ある会場で、安藤茂さんの貴子夫人に会ってしまいました。

古川和博

- ・地区協議会に出席できず申し訳ありませんでした。小林君にお願いしたところ快く引き受けて頂き、心強く思いました。本日も宜しくお願いします。

佐古和也

- ・屋形船のきれいな写真を載せて頂き有難うございます。

堀 務

小木曾孝司

- ・屋形船の出航を遅らせてしまい申し訳ありませんでした。

安藤 茂

- ・先日、税務調査がありました。別にやましい事はしていませんが、何故か？ホッとしています。

園原祐一

- ・IDMで剰余金が出ました。スマイルします。

4月度 IDM 出席者一同

- ・本日早退させて頂きます。

幸協利幸

本日の申告額 ¥ 32,000 (累計 ¥ 960,000)